

★予防投与の対象となる治療・処置

- ◎歯肉や歯根尖部領域の処置, 口腔粘膜の損傷や穿孔を伴うすべての歯科治療・処置 {ただし以下の処置時には必須ではありません: 非感染組織への麻酔注射, X線撮影, 入れ歯・矯正装置の着脱, 矯正装置の調整, 矯正ブラケットの装着, 乳歯の自然脱落, 口唇・口腔粘膜創からの出血}
- ◎呼吸器系に対する侵襲的治療・処置 (扁桃・アデノイド摘出術や気管支ファイバーでの生検など)
 { * 消化管領域, 泌尿・生殖器領域の治療・処置時の抗生剤予防投薬は必須ではありません }

★予防方法

該当する治療・処置の前に投与する. できなかつた場合は, その後2時間以内に同量を投与する.

・内服薬による予防 (処置 1 時間前に)

標準予防法	【 小 児 】	【 成 人 】
アモキシシリン (サワシリン [®] , パセトシン [®] , ワイドシリン [®] 等)	50mg/kg (最大 2g)	2g (または 30mg/kg)
ペニシリンアレルギーの場合		
クリンダマイシン (ダラシン [®])	20mg/kg (最大 600mg)	600mg
アジスロマイシン (ジスロマック [®])	15mg/kg (最大 500mg)	500mg
クラリスロマイシン (クラリス [®] , クラリシッド [®] 等)	15mg/kg (最大 500mg)	400mg

・内服が不可能な場合 (処置開始 0~30 分前の間に)

標準予防法	【 小 児 】	【 成 人 】
アンピシリン (ビクシリン [®] 等)	50mg/kg (最大 2g) 静注/筋注	1~2g 静注/筋注
ペニシリンアレルギーの場合		
セファゾリン (セファメジン d [®] 等)	50mg/kg (最大 1g) 静注/筋注	1g 静注/筋注
セフトリアキソン (セフトリアキソン Na [®])	50mg/kg (最大 1g) 静注	1g 静注
クリンダマイシン (ダラシン S [®] 等)	20mg/kg (最大 600mg) 静注/筋注	600mg 静注/筋注

あなたは、感染性心内膜炎 (心臓の中の弁や、内膜に細菌などがつき、高熱や心不全、脳梗塞、脳出血などを起こす病気)をおこしやすい心臓病があります。

そこで

1. 歯を抜いたり、歯槽膿漏の切開などをしたりする場合には適切な予防が必要となります。必ず、主治医の歯科医にそのことを伝えて、適切な予防処置を受けてください。
2. 歯槽膿漏や、歯の根まで進んでしまった虫歯などを放置しておくとう感染性心内膜炎を引き起こしやすくなります。定期的に歯科医を受診して口腔内を診察してもらいましょう。
3. 口腔内を清潔に保つために、歯ブラシや歯ぐきのケアを怠らないようにし、正しく歯科医の指導を受けてください。
4. 感染性心内膜炎を引き起こす可能性が示唆されている手技や手術があります。手技や手術を受ける前に、実施医に感染性心内膜炎になりやすいことを伝えてください。
5. 高熱が出た場合、その熱の原因が特定できない場合や、すみやかに解熱しない場合には、安易に抗菌薬を内服してはいけません。その場合には医師に相談してください。